



碧 空

平成 24 年
6 月 8 日 (金)

第 4 号

前期人権同和教育導入集会

6 月は、前期人権同和教育月間です。日常の学校生活においても人権委員会を中心に、誕生月の友達の「いいところエピソード」や「心の花の日」など、人権感覚・人権意識が向上する取り組みをしています。そして、さらにこの月間を通して身の回りの人権問題に関心を持ったり、自分の生活や生き方と結びつけて考えたりできるようにしたいと願っています。

先日の導入集会では、最初校長先生より「人権の意味、因果応報」等についてのお話があり、引き続き人権委員長や各学年の発表・「常盤中学校人権宣言」の復唱が行われました。

父の言葉 黒柳 徹子

私は、小学生になる本のちょっと前、結核性股関節炎という病気で入院した。石こうのギブスを、ウエストから足のつま先までグルグル巻きにはめられて、上を向いて寝ているだけの生活が 3 か月続いた。

でも、私は子どもだったから何の心配もせず、胸の上でお人形さんごっこをしたり、本を読んで暮らしていた。そのとき両親は、お医者様から「よくなっても、たぶん、将来は松葉づえをつくことになるでしょう」と言われた。

そんな状態のとき、私の隣の病室に、私と同じくらいの年で同じ病気の女の子がいることを知った。丸顔の私とは反対の、面長な目鼻立ちのはっきりした子だった。

話をしたわけでもなく、たまにストレッチャーに乗せられ、どこかに移動させられるときとか、ギブスをとった後のリハビリの時に顔を合わせた程度、でも私は、「同じ病気の子」ということで、鮮明にその子のことを覚えていた。

私は退院した。ギブスをとって細くなった足に電気をかけに連れていかれたり、湯河原温泉に行かされたりして、奇跡的に歩くことができるようになった。運がよかったのは、母が早く病気に気がついてくれたからで、ほんのちょっとのところで手遅れになるところだった。

退院後しばらくして、私が道を歩いていくと、向こうから赤い松葉づえをついた女の子が来た。ペンキで塗ってあるのか、赤い松葉づえは珍しかった。よく見ると、あの病院にいた女の子だった。顔があった。松葉づえのその子は、私の、何もつけていない足を見た。そして、私たちは何も言わずにすれ違った。

そのとき以来、私はその赤い松葉づえの子が遠くに見えると、走って横道に隠れた。松葉づえをついていない自分を、その子に見せたくなかった。その子の気持ちを思うと、たまらなかった。

あるとき、私は父と散歩をしていた。そのとき、赤い松葉づえが見えた。私は父を引っ張って、横道に入った。父は私に「どうしたの?」と聞いた。私は父に説明した。話を聞き終わった時、父が言った。

「そんなにかわいそうだと思うんなら、隠れないで、行ってお話してあげなさい」

6 歳の私に、父はそう言った。でも、私には、そのときは、どうしても勇気が出なかった。やっと決心がついたころ、空襲(太平洋戦争)が激しくなり、その子の姿も見えなくなった。

今、私がしているいろいろなこと…福祉やユニセフのこと…、考えてみると、出発点は、6 歳の時の父の言葉、「行ってお話してあげなさい」ではなかったかと、今になって、やっと私は気がついた。

時間がなくて、校長先生が紹介できなかった黒柳徹子さんの話です。

人権導入集会を終えての生徒の感想より

最後の「自分が好き、友達が好き、常中が好き、やっぱり、私はみんなの笑顔が好き」という言葉を見た時、すべて私の気持ちそのものだったので、これでいいんだと思えてうれしかったです。(1年女子)

「因果応報」のDVDのように、いいことをされたら、本当にいいことをしたくなると思ったので、これから僕は積極的に人がうれしく思うようなことをどんどんしていこうと思った。この月間を通して、いろいろな人と仲良くなったり、いじめや差別についてもう一度考え直したりしようと思った。(1年男子)

私は中学1年生の時からケンカを見てきました。止めたいと思ったけど、「あまり話さない人だし、ふざけてるんだ」と思っていました。だけど、数日後になると、その人たちが会話するところを見ませんでした。

「何で、あの時に喧嘩を止めることができなかったんだろう？止めればよかった…」心からそう思いました。

後悔したって、過去に戻れるわけじゃない。後悔しないためには、その場ですぐに喧嘩やいじめを止めること。止めることで

その人の未来も変えられると思いました。(2年女子)

「父の言葉」という話が、すごく心に残りました。黒柳徹子さんのお父さんの言葉が、今の黒柳さんにつながっていると思いました。(2年男子)

今日の人権同和集会で「因果応報」という言葉を知りました。人の行為の善悪に応じてそれにふさわしい報いが必ず現れると聞き、自分が悪いことをしたら悪いことが返ってくるのだと思った。

過去に悲しい出来事があるにもかかわらず、まだ常盤中ではいじめが消えない。言っている本人は本気じゃなくて「うざっ」と言っても、言われている相手は悲しくなってしまう。自分はいじめをなくし、差別をしないようにする。(3年女子)

今日の講話で考えたことは、普段友達に冗談交じりで悪口を言っている自分が思い浮かびました。友達は普通に笑っていても実は悲しいかもしれない。そんなことを考えました。期間中だけでなく、ずっと人権意識を高めたいです。(3年男子)

北信陸上競技大会・上高井中学校体育大会

今までの練習の成果を十分出し切って、悔いのない試合とパフォーマンス、「一流」たる姿を見せてくれることを期待しています。保護者の皆様も、ご多用の中とは思いますが、ぜひ生徒たちの全力プレー・活躍をご覧ください。

○ 男子バスケ(相森中体育館)	○ サッカー(福島グラウンド)
9日(土) 10:25~vs 高山中 16:05~vs 相森中	9日(土) 10:10~vs 高山中 13:10~vs 墨坂中
10日(日) 決勝トーナメント	10日(日) 9:00~vs 相森中 13:10~vs 小布施中
○ 女子バスケ(相森中体育館)	○ 剣道(山ノ内中体育館)
9日(土) 10:25~vs 高山中 13:15~vs 墨坂中	9日(土) 男女個人戦, 男女団体予選
10日(日) 決勝トーナメント	10日(日) 男女団体予選・決勝トーナメント
○ 男子バレー(墨坂中体育館)	○ バトミントン(小布施総合体育館)
9日(土) 10:00~vs 墨坂中 11:00~vs 小布施中	9日(土) 女子シングル個人戦
14:00~vs 相森中	
○ 女子バレー(東中体育館)	
9日(土) 10:10~vs 東中 11:20~vs 小布施中	
10日(日) 10:10~vs 墨坂中 11:20~vs 高山中 13:20~vs 相森中	
○ 北信陸上競技大会(長野市営陸上競技場)	
9日(土)	